

第46回精神医療関係労組全国交流集会開催 全国から60名が参加

10月25日～26日、東京で、第46回精神医療関係労組全国交流集会が開催され、1全国組合16都道府県、60名が参加しました。

集会は、東幸枝部会長が開会挨拶後、精神科医の上野秀樹先生さんより「入院中心の精神科医療から転換をどう進めるか」として、日本の精神科医療の問題点や今後の精神科医療の在り方について講演を聞きました。講演後の基調報告は森田進書記次長が行い、精神医療をめぐる情勢と運動の経過、今後の取り組みについて話しました。



特別報告では、島根県・恵和会労組から「特定医療法人恵和会の概要」、東京・慈雲堂病院から「2014年診療報酬改定精神科急性期医師配置加算算定の影響と当院の現状」、兵庫県・有馬高原病院からは「有馬高原病院の現状」、石川県・松原病院労組からは「輝かしい組合結成30年を迎えるために」についての合計4本の報告がありました。

2つのグループに分かれた各分散会は、職場や病院の状況、賃金・労働条件改善など要求実現の課題、成果主義賃金導入の動きに対して、精神医療改革に関して精神部会として今後どう取り組んでいくのかなどの交流が活発に行なわれました。



集会の終わりに森田書記次長は、「ここ数年精神医療改革と称して国の政策に大きな変化が生まれている。精神部会として国に働きかけを行っていきたい。またそれとあわせて日本医労連精神部会としてしっかりと議論も行い見解も持ちながら運動を進めていきたい。」とまとめの発言がされました。

【連絡】第46回精神医療関係労組全国交流集会参加者の方へ
全国交流集会で配布出来なかった上野先生の講演資料を各県医労連へ配布しております。
講演資料をご希望の方は各県医労連までお問い合わせください。